

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例 会： 毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321  
事務局： 藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org



白川郷

写真提供：鈴木 舜光君

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1780回

<ソング>四つのテスト  
<ソングリーダー> 青島 彰君



2008-2009年度 RIテーマ  
夢をかたちに  
李 東建

会長報告 青島 克郎君

本日は藤枝順心高校インターアクトクラブクラブ顧問の佐野先生そして部員の望月さんと山空さんにおいて頂き後ほどクラブの活動報告をして頂く事になっています。是非活発な活動をしていただきクラブの仲間を増やし奉仕の喜びを分かち合ってください。

今月15日の敬老の日に市民体育館で藤枝ロータリー旗争奪親善剣道大会が開催されまして仲田幹事、栗原さん、鈴木廣利さん、大塚さんの5人で開会式に出席いたしました。県内各地から大勢の少年剣士が集まり、子供達の凛々しい姿をみて改めて日本武道の良さに触れた感じが致しました。

さて、私がこのクラブに入会したときの職業分類はレストランでした。

何軒かの飲食店を経営していましたが平成13年に飲食業から撤退いたしました。撤退に際して最も悩んだのが従業員の事でした。幸い従業員の1人が会社を興し他の従業員と一緒に1つの店を継承したいということになり、まずまずの結末となりましたが、それでも何人かの従業員は新しい職場をさがし移ってゆきました。中には不本意だった者も居たかも知れません。

最近問題になっている三笠フーズの事件を見てこれは偽装やモラルの欠如ではなく明らかな凶悪犯罪であり企業経営者になってはいけない人間が経営者となってしまった結果、起こるべくして起こったことだと思います。彼がロータリアンでないことを祈るばかりですし、もしロータリアンで4つのテストを実践していればこの様なことは起

こらなかつたでしょう。

事件が起きて突然解雇され途方に暮れる従業員のことを考えると、そんな社長に仕えてしまった不運をとても気の毒に思います。

また、最近NHKで「戦場 兵士はどう戦わされてきたか」と言う特集が放送されました。泥沼化する米軍のイラク駐留からの帰還兵が激しいストレスからPTSD(心的外傷後ストレス障害)を発症していてその数はおよそ20%にあたる30万人にのぼるとのことです。

このタイトルでどう戦ってきたかではなく、戦わされてきたかということにその悲惨さが伺われる気がいたします。戦争だから仕方がない、国を守るためには仕方がないといえはそれまでですが現実に残酷な状態に陥った箇々の人達のことを考えると仕方がないでは済まされない気がいたします。

企業も軍隊もそれを率いるトップの考えにより動かされ、従業員や兵隊はそれに従わざるを得ません。やはり上に立つ人間には下の者のことを我が事として考えることが出来る資質や人格がなにより必要なのではないのでしょうか。

幹事報告 仲田 廣志君

- 地区大会の御案内と本登録のお願いが届いております。
- 地区大会出席義務者の方に今日、出欠の御案内をさせていただきます。欠席の場合には代理の方を推薦願います。
- ハイライト米山103号が届いております。

- ガバナーエレクト事務所の開設のお知らせが届いております。
- 国際友好協会から FIFS NEWS No 9 1 が届いております。
- 国際ロータリー第 2 6 2 0 地区職業奉仕委員長より「生活よろず相談」実態調査のお願いが届いております。
- 9月21日は旅行例会となりますので9月24日は休会です。お間違えのない様にお願いします。

### 出席報告

山田 昭雄君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 36 72.22%	24 / 36 66.67%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

石垣君 小西君 松葉隆君 飯塚君  
板倉君 杉山君 鈴木舜君 仲田晃君 水野君  
望月志君

### ビジター

井上 勝彦君(島田)

### スマイル B O X 山田 昭雄君

- 誕生祝をありがとうございます。 柳原 寿男君
- 夫人誕生祝、毎月ご苦勞サン、元気で長生きして下さい。 杉浦 良一君
- 9月15日に長男が結婚しました。家族が増えました。よろしく願い致します。 村松 英昭君

スマイル累計額 291,000円

### 委員会報告

『ロータリーの友9月号』紹介

クラブ広報担当 柳原 寿男君  
8月号と一味違った「自然界の美」にうっとりさせられる表紙です。左開きのマルハナバチ、右開きのムラサキハナギンチャクの解説は、タテ33ページ(P)を御覧下さい。

ヨコ1PのR I 会長メッセージは、来年のR I 国際大会へのお誘いです。イギリスのバーミンガムは交通の便にも恵まれた古い歴史のある都市のようです。尚、今年6月のロサンゼルス国際大会に

参加された会員の感動的体験報告の幾つかは、タテ18Pの「友愛の広場」に掲載されております。

今月は「新世代のための月間」です。ヨコ6Pから「若い人のためにできること」と題して各々のクラブの様々な活動がのっています。(子ども暗礁大会、風力・太陽光発電機を設置して環境問題を考える等々)なかなかユニークな活動があつて、当クラブでも参考になりそうです。

右開きタテのトップ記事は「安全で豊かな社会づくり小売業の使命」と題して、イズミヤ(株)代表取締役社長林紀男氏による第2640地区、地区大会講演要旨です。今日の小売業界は「食の安全への不安感」「原材料の高騰と商品の値上がり」「生活者の高齢化」「地球環境問題」等を抱えています。新聞をはじめとするマスコミに取り上げられない日はありません。小売業に携わる方はもとより、消費者の私共にも大いに参考になる記事です。

「くらぶ探訪」は会津若松RCです。漆器と電子精密機械の地方都市とのことですが、棒ダラと身欠きニシンの話がのっていて、昔懐かしく思いました。

### インターアクト年間報告

藤枝順心高校インターアクトクラブ顧問  
佐野 巖様



こんにちは。藤枝順心高校インターアクトクラブ顧問の佐野です。この時期にロータリークラブの例会におじゃまして、お話をさせていただくようになってから5年目になります。その間、学校にも部活動にも、いろいろな変化がありました。

部活動につきましては、今年度の活動状況、年次大会の報告は後で生徒が行います。ただ、ここ数年毎年のことですが、部員の確保に苦勞しています。現在も3年生3名、2年生2名、1年生3

名という状況で、なんとかやっているというところでは、どこの学校でも部員確保に悩んでいるようで、学校によっては活動休止になっているところもあるようです。世間では福祉、ボランティア、NGO、国際貢献などよく話題になりますが、高校生のレベルとなると、必ずしも自分の事に結びつきにくいというのが現状です。

さて、学校につきましては今年で中学校ができて6年たち、中高一貫性の最初の卒業生がでます。我々としては、その進路にも期待しているところです。また、高校生については昨日から就職試験が始まり、90名あまりが受験します。生徒の減少に比べここ数年は安定した求人がきているので、多少安心しています。

部活動については、多少宣伝にもなりますが、柔道部の活躍が目立っています。インターハイに2名出場、うち1名は優勝、中学生も全国大会で入賞と高成績をあげています。また、サッカー部も夏の全国大会でベスト8と、例年のごとく頑張っています。

最後に、話は戻りますが、ボランティア、国際理解というインターアクトの活動のPRと部員確保を考えながら、今後の活動を進めていきます。

藤枝順心高等学校  
山杳 美紅さん



藤枝順心高等学校のインターアクト部の活動は、主に点字の花カレンダーの制作を行っています。毎週二回、講師の先生を招き、点字の指導をしていただいています。一年生は点字の講習を行っています。この講習に合格すれば初級の終了書がもらえます。さらに上を目指したいという人は、中級、全科程といった講習を合格を目指してうけます。二、三年生は、来年の花を十二種類選び、一月から十二月までの日付けを点字で一つ一つ打ち、絵本で選んだ十二種類の花をコピーし、紙にはり

ます。この作業を一人二十部作ります。出来上がった花カレンダーは、視覚障害者の方々に寄付しています。

その他の活動では、順心幼稚園のボランティア、養護学校のボランティア、今年は中国四川大地震があったので、生徒会の方々と一緒に、募金活動を行いました。順心幼稚園のボランティアでは、参加したい人だけで行っています。学校の放課後に訪問し、夏から秋にかけては二時間、冬から春にかけては一時間半、園児と楽しく触れ合っています。養護学校のボランティアでは、今年は養護学校のお祭りのボランティアに参加しました。生徒さん達は嬉しそうに笑っていたので、私達もとても楽しく活動することができました。中国四川大地震では、インターアクト部と生徒会が協力し、募金活動を行いました。皆が募金をしてくれたことにより、とても多くの資金を集めることができました。とても嬉しく思っています。

これからは、インターアクト部では老人福祉へのボランティア活動がないので、少しでも、老人の方々と触れ合える老人ホームへの訪問があれば良いと思っています。

『年次大会に参加して』

藤枝順心高等学校  
望月 香甫さん



私達インターアクト部の二年二名は、八月二日、三日沼津で開催のインターアクト年次大会に出席しました。会場は沼津市民文化センターが会場でした。一日目は開会式に始まり、次は柿田川を守っている柿田川自然保護の会の会長さんに柿田川の事を教えてもらいました。柿田川は昔、工事を取り壊されることになっていたそうです。あんなに綺麗な川を無くそうなんて昔の人はひどいなと思いました。柿田川という川で人がこんなにも繋がっていくのに感心しました。

話が終わった次は、一人一人別れて決められた部

屋に行きテーマに沿って話し合いをするものでした。私のグループは組織拡大の工夫でした。みんなの話を聞くと新聞や広告などを学校に貼ったり、部活だけではなく、委員会としても活動している所もありました。どの学校も頑張っているので、私達順心高校も頑張ろうと思いました。

次は私達の泊まる宿泊施設です。南山荘という所に泊まりました。他校の人達と同じ部屋だったので緊張しましたが、仲良くなる事ができて嬉しかったです。二日目は、柿田川を見学しました。湧水の色は透明ではなくとても綺麗な青色でした。湧水を飲みましたが冷たくておいしかったです。

私は、この年次大会に行って本当によかったと思います。自然のことを沢山学びましたし、自然を守ろうとしている人の話を聞いたのも良かったです。来年は今の一年生が参加するので、一年生にも良かったと思う体験になってくれればいいなと思いました。

(担当 / 青島彰)